

## <白金標準、W ボトムを確認した相場であり修正後の高値追い・・・>



(出所：オアシス)

米国や中国の景気減速懸念から一時 4175 円まで下値を模索しながら FOMC でインフレ抑制から景気重視へ移行し、FF レート誘導目標を 0.5%の利下げを実施している。日銀金融政策決定会合では、政策金利を据え置き植田日銀総裁の記者会見では「今すぐの利上げはない」と発言するなどハト派の発言を行い、円ドルは 141 円から 144 円へ円安の動きを見せている。特に中国は、人民銀行総裁が「今年末までに預金準備率を 0.25%から 0.5%引き下げるほか、7 日物リバースレポ金利を 0.2%引き下げ 1.50%にする」と発表し、習近平主席も参加した政治局会議で経済成長率 5%の目標達成に向け「強力な金利引き下げを実施」などと表明し、中国の景気刺激策を受け白金標準先物は W ボトムの完成を示す高値 4593 円を上回ると週末には為替市場で 146 円まで円安の動きを受け、4733 円まで高値を試している。しかし自民党総裁が金利引き上げ反対表明の高市氏から融和的な石破氏の勝利が伝わると一転し 142 円まで円高の巻き戻しを見せ、白金標準先物も 4582 円まで下落している。そのため修正安の値動きに注意が必要であり 4500 円以下まで買いは手控えと思える。

### <テクニカル>

白金標準先物の日足を MACD と RCI で見た場合は、MACD では **MACD** が上昇し、**シグナル**も上昇している。RCI では**短期**が高値を維持し、**長期**は上昇している。ただ日足が **200 日移動平均線**を下回っており、**40 日移動平均線 (4438 円)**までの修正安に注意が必要と思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行ってください。売買の判断はお客様御自身で行ってください。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引1,377,000円(2024年9月30日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約10倍から70倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚あたり往復73,920円(2024年9月30日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当日本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話03-5540-8423(受付時間:平日8:30~17:30)

証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター  
<https://www.nisshokyo.or.jp>